

## 「育ちの記録シート」とは

「育ちの記録シート」は、お子さんのよりよい育ちを支援するためのものです。お子さんとの日々のかかわりや各関係機関とのやり取りの中で更新し、お子さんの記録を積み重ねていきます。

保護者の方だけではなく、お子さんを支えてくださるたくさんの方にも関わっていただき、「育ちの記録シート」をともにつくっていきましょう。

成長していくお子さんにとって、大事な「育ちの記録」になり、かけがいのない思い出や支えを再確認する1冊になることを願っています。

## 「育ちの記録シート」記入のしかた

- \* お子さんが小さいうちは、作成・管理は保護者が行います。
- \* お子さんが遊んだり、話をしたりしながら、一緒にページを作っていきます。
- \* 就学前の施設の方にも「育ちのシート」を見ていただき、お子さんのことを理解してもらいましょう。
- \* 就学を機に、お子さんが自分で書くことのできるページも出てきます。
- \* 就学してもお子さんと対話しながら、お子さんを支えてくれる環境（人・物など）を共に確かめ、記録していきましょう。
- \* 自分だけで書きたい、持っていたいというお子さんの声は大事にしましょう。
- \* 家庭訪問や保護者会、個人面談等、お子さんの事を理解してもらいたいという機会に、学校の先生方にも見てもらいましょう。
- \* この「育ちの記録シート」は、お子さんが健やかに成長し、いずれ自立していくための大切な役割を果たします。

関係諸機関の皆さま  
幼稚園・保育園（所）の先生方へお願い  
小・中学校の先生方

この「育ちの記録シート」は、第二の母子手帳として活用していただけるように作成しました。

子育て中の保護者の方の支えになるように、親子の絆が深められるように、そして20歳まで使えるようにということで、全ての子ども達の自立支援を願った1冊です。

子ども達が自立していく過程では、多くの方の支えが必要です。

たくさんの方で子ども達を見守り、保護者の方とともに自立に向け応援していくためにも、様々な場面・機会に「育ちの記録シート」をご活用ください。

この1冊の中には、関係者の皆さまからもスタンプまたはコメントをいただく箇所もございます。

ぜひ年に1度は手にとっていただけたらと思います。



こんな場面が考えられます。  
保護者の方に声をかけてみてください。

- 幼児施設入所面接
- 家庭訪問
- 個人面談
- 義務教育終了後、自己理解してもらうための面談等

入学後は、子どもが自分で書くことのできるページも出てきます。



いつ書くのですか。

- その子の誕生日に
- 学期末に
- 長期休業日に
- 学年末に
- 家庭訪問の時に 等

\*関係の皆さまにも、子ども達の支援者の一人としてこの1冊に関わっていただけたらと思います。